年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用）教科　　国語　　科目 現代の国語

教　科：国語　　科　目：現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｆ 組

教科担当者：（Ａ組：　古宮　）（Ｂ組：　古宮　）（Ｃ組：　古宮　）　（Ｄ組：　古宮　）（Ｅ組：　古宮　）（Ｆ組：　古宮　）

使用教科書：（ 桐原書店「探求　現代の国語」　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】　言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会に必要な母国語としての日本語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	体験と思索Ⅰ 「『ふしぎ』と人生」河合隼雄 【知識及び技能】 構文に注目して筆者の主張を捉える方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と抽象的なまとめを区別しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を自らの体験に照らし合わせて考える。	・１年間の授業の流れや学習方法などを説明し、今後の学習の見通しを持たせる。 ・評論文読解の基礎として、筆者の主張の表現、具体と抽象の区別に留意して読み取らせる。 ・心理学的な箇所に説明を加え、筆者が述べていることを自分の身近なことに置き換えて理解させる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中の漢字の読み書き、慣用表現を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 評論に多用される表現や接続詞に着目し、具体と抽象を区別しながら論旨を捉え、自分の体験を振り返り、考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 人の思考を心理学の観点によって分析する筆者の視点から、人間が文化や体験から無意識に影響を受けていることに関心を持っている。	○	○	○	5
	体験と思索Ⅰ 「読書は必要か？」穂村弘ほか 【知識及び技能】 文中の例えが指すものを前後の文脈と照らし合わせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の文章と資料から考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の意見を踏まえて自分の考えをまとめさせる。	・例えが何と照応しているかを文脈を踏まえて捉えさせる。 ・２つの文章の類似点、相違点を整理させる。 ・資料の読み取りで注目すべき点を理解させる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中の漢字の読み書き、慣用表現を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 評論に多用される表現や接続詞に着目し、具体と抽象を区別しながら論旨を捉え、自分の体験を振り返り、考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな意見を公平にみる姿勢を意識し、社会的な話題に関心を持っている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○	○	1
	評論Ⅰ 「ほどほどのデザイン」佐藤卓 【知識及び技能】 評論に頻出する構文や語句の働きを知り、論理の展開を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と抽象的なまとめを区別しながら読み、詳細な具体例を通じて筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えをもとに、身の周りのもののデザインについて考える。	・評論読解の基礎として押さえておくべき構文や語句を手がかりにして読む方法を身に付けさせる。 ・筆者が述べている日本独自の「デザイン」の特徴を理解させる。 ・各形式段落の働きに着目し、全体の構成がどうなっているかを考えさせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現を身に付けようとしている。 本文読解において、接続詞のはたらきを理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 具体と抽象の区別や接続詞に着目しながら、全体の構成を捉える力を高めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本独自の「デザイン」において「ほどほど」というキーワードをもとに、改めて周りのデザインを見つめ直そうとしている。	○	○	○	6
	評論Ⅱ 「読む」外山滋比古 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が提示する「解釈」とは何かを正確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 言語表現がもたらす「解釈」のおもしろさについて自分の経験を通じて考える。	・何と何が対比されているかを確認させながら、対比によって論理をより正確に読み取れることに気づかせる。 ・筆者が主張する、言語表現における読者の創造的な「解釈」とはどのようなものかを具体例を補いながら理解させる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現を身に付けようとしている。 本文読解において、対比表現を理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 テクストに対する読者のあり方について筆者の主張を正確に読み取り、「解釈」という行為の本質を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語表現における読者の創造的な役割について関心を持っている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	読書活動 「私の一行大賞」に応募する 【知識及び技能】 選んだ本から印象的な表現を探し出して味わう鑑賞力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 注目した表現に自分が魅力を感じる理由を分析し、他者にわかりやすく伝える文章を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品の表現の効果を考察し、味わう姿勢を身につけさせる。	・図書館や書店等で本を探すことによって、読書に親しむ姿勢を育む。 ・さまざまな表現に注目させ、文学表現の幅広さ、豊かさに気づかせる。 ・生徒同士でお互いの読んだ本について意見を交換することで、他者の読書傾向や感性に触れ、読書への関心を高める。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 図書館の分類法・利用方法や書店での本の探し方に対する理解を深め、積極的に本を探そうとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 文章表現に注目し、その効果について主体的に考察し、他者にわかりやすく伝えるために文章表現や後世に工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 図書館や書店に足を運ぶことによって、読書への関心を高めている。	○	○	○	4

	評論Ⅲ 「経済の論理/環境の倫理」岩井克人 【知識及び技能】 経済的な用語を理解しながら現在と未来の対比構造を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 経済の視点から環境問題についての筆者の考察を読み取り、世代間倫理の問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 経済という専門的な視点から社会問題を分析する文章を読むことで、社会を見る視野を広げる。	・生徒に抵抗感を抱かせないよう、経済に関する専門的な叙述に説明を加えながら理解を深めさせる。 ・現在と未来を対比を軸として、筆者が述べる環境問題の課題を正確に読み取らせる。 ・経済の分野から社会を見ることで、新たな視点が得られることに気づかせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 「解釈」という行為は創造的だという外山滋比古の叙述をもとに、自分がどのようにテクストに向き合っているかを言語化しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者のさまざまな「解釈」を知ることによって、文学作品が生みだす多義性に関心を持っている。	○	○	○	7
	評論Ⅲ 「遅れてきた『私』」若林幹夫 【知識及び技能】 評論用語の意味を確認しながら「共時性」「通時性」という概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会学の視点から、現代社会において個人の存在がどのようなものであるかを読み取り、人間の存在のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活を振り返り、社会と個人がどのような関係にあるかについて考察する。	・論理展開を評論読解の手法に基づいて読み取らせる。 ・数々の具体例とあわせて筆者の主張を確認させ、個人の存在がどのようにして定められるかを理解させる。 ・筆者の論理を自分に置き換えて考えさせ、社会と個人の存在の関係に対する視野を広げさせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 「個人の存在は社会の中にある」という論理がどのようなことかを、具体例に基づいて理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の存在についての社会学的考察を通じて、現代社会での個人のあり方についての見方を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
２学期	評論Ⅳ 「食の履歴書」湯澤規子 【知識及び技能】 評論読解の手法に基づいて論理展開を把握し、筆者が主張する「近代」における食生活の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「近代」における食生活の変化をきっかけに、「近代」が人々の生活や思想にどのような変化をもたらしたかをこれまでの知見や経験をもとに考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会がその時代の思想に影響を受けて変化しているという視点から、自分の生活がどのような影響を受けて今に至っているかを考察する。	・「近代」という時代が食生活にもたらした変化を読み取らせる。 ・本文中に挙げられているグラフから筆者が主張する変化を読み取らせる。 ・現代社会の人々の生活がどのような考えや思想に影響されているかを、以前の時代と比較して考えさせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 「近代」という時代がどのような時代であるかを理解し、本文中のグラフを参考にしながら、それが食生活の変化につながっていた経緯を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「近代」が社会にもたらした変化に関心を持ち、社会とその時代の思想とを結びつけて捉えようとしている。	○	○	○	6
	評論Ⅳ 「わかろうとする姿勢」（鷲田清一） 【知識及び技能】 評論読解の手法に基づいて論理展開を把握し、筆者が考える「自己」と「他者」の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「他者を理解する」ということについての筆者の主張を正確に読み取り、ひとが「わかってもらえた」と感じるのはどのようなときかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者とのコミュニケーションに大切なものは何かについて考え、自分と	・自己と他者の対比に留意しながら、その二者がどのような関係にあるかを読み取らせる。 ・本文中の文学的表現に注目させ、評論の文体の多様さに気づかせる。 ・日常生活の中で自分がどのように他者に接しているかを振り返らせることで、社会の中での人間の存在に対する視野を広げさせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 「自己」「他者」という概念を軸とし、本文中の具体例を自分の周囲の事象にあてはめながら、他者理解についての筆者の主張を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分と他者の関係について関心を持ち、筆者の考えをもとに、自らの日常的なコミュニケーションを新たな視点で捉えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
３学	評論Ⅴ 「ＡＩの判断」船木亨 【知識及び技能】 情報技術に関する用語を理解しながら筆者が提示するＡＩにまつわる課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ＡＩに関する一般的な懸念とは異なる筆者の考察を踏まえて、論理的・客観的にＡＩの問題を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 技術の進歩にはそれに伴う課題が生じることを前提にして、技術とどのように向き合うのが望ましいのかを考える。	・情報技術に関する用語やＡＩに対する一般的な受け止め方を確認させながら本文への理解を深めさせる。 ・筆者が述べるＡＩの課題が生じるメカニズムを読み取り、その背景を正確に読み取らせる。 ・自分の周囲に用いられている技術やこれから発展していく技術と人間の望ましいかかわり方について考えさせる。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 筆者が挙げるＡＩの未来にわたる課題と人間の生き方について理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術と人間とのかかわりについて関心を持って考えを深めている。	○	○	○	4
	論理的文章の書き方の基本 【知識及び技能】 論理的文章の基本的な構成を知り、使えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 説得力を持った文章になるように、テーマの設定・具体例の選定・根拠となるデータなどを適切な方法で集め、効果的な構成を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 適切なテーマ設定、客観的な根拠に基づいたデータの選び方、相手にわかりやすく提示する方法などに留意して工夫することによって、文章で自分の考えを相手に伝える力を向上させる。	・小論文などの論理的文章と作文との違いを意識させ、基本的な構成のパターンを説明する。 ・基本的な構成を用いて文章を書かせ、文章作成に必要な手順を身に付けさせる。 ・読み手にわかりやすくするために、どのような工夫をしたらよいか、自分で推敲したり、お互いの作品を読み合ったりして考えさせる。		○		【知識及び技能】 論理的文章によく使われる構文や表現を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 文章を書くことで、必要な準備や注意すべきことを経験し、表現や構成を考えながら論理的文章を作成しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書いたものを他者と読み合うことで、よりよい文章にするためにはどうしたらよいかを自ら考え、作品に反映させる。	○	○	○	4

評論Ⅴ 「歴史は『今・ここ・私』に向かってはいない」内田樹 【知識及び技能】 評論読解の手法に基づき、人間主義的な進歩史観に対するフーコーの異議と筆者が主張する「歴史の直線的推移は幻想である」という叙述の論理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史に対する一般的な捉え方を客体化し、その裏で「排除」されたものの存在を考えることから「歴史の恣意性」について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、身近な出来事や事柄について、それが「『生成した』歴史上のその時点」にどのような選択がなされているかを考察する	・人々の「思い込み」とそれに対するフーコーの異議を区別して読み取らせる。 ・フーコーの理論と筆者の主張の共通点を把握させ、歴史から「排除」されたものとはどのようなものであるかを理解させる。 ・社会で共有されている考え方が恣意的であり、必然的ではないとする筆者の考えを身の周りの事象にあてはめて考察させ、身近な物事を客体化して見る視点を養う。 ・教材：ワークシート ・一人１台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現、経済用語を身に付けようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 先人の理論を応用して社会を見ることで、社会を客観的に観察・考察する姿勢を身に付けようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「歴史の恣意性」について関心を持ち、身近な物事を客体化して見る視点を身に付けようとしている。	○	○	○	7
定期考査						○	○	○	1 合計 70